



▼賞状を手に笑顔を見せる北川隊長（中）と市下隊員（右）



ドラ・パト隊が文部科学大臣から表彰

学校安全ボランティア活動奨励賞

12月2日（木）嘉島町民会館で、学校安全ボランティア活動奨励賞を受賞した龍野地区防犯パトロール隊「ドラ・パト隊」（北川國昭隊長）が県教育委員会から賞状の伝達を受けました。

これは子ども安心安全な学校教育活動に貢献する優れた活動を行っている団体を文部科学大臣が表彰するもの。今年度は全国27団体が選ばれ、県内での受賞は同隊のみ。

同隊は、龍野地区社会福祉協議会が中心となって平成20年に発足。防犯ベストや帽子、たすき、腕章などを身に付けて散歩や買い物などを

「ながらパトロール」や毎朝の登校指導を通して地域の子どもの見守り活動などを実施しています。令和元年には警視庁が主催する全国防犯ボランティアフォーラムで九州ブロック代表として活動報告を行うなど、他団体にも影響を与えていることなどが評価され、今回の受賞となりました。

親子で学ぶプログラミング

カダブラ株式がプログラミング教室を開催

11月27日（土）町生涯学習センター・視聴覚室で、小学校で必修化されたプログラミング教育の基礎を親子で学びました。

この催しは、WEBシステムやプログラミング教育教材の開発などを行うカダブラ株式会社（東京都）が、県内の事業所新設に併せた地域貢献事業の一環として開催。参加した親子連れは、プログラミング学習用ソフト「Scratch」を使用して、命令を組み合わせるゲームを作成しながらプログラミングの基礎を学びました。



▲授業のはじめにあいさつするカダブラ株式の佐藤さん（中）



◀制服マルシェを企画した越名さん（右）と瀬川さん

「もったいない」を「ありがとう」に

制服の無料譲渡で子育て支援

11月27日（土）甲佐町子育て支援住宅の集会所で、学生服の無料譲渡会「制服マルシェ」が開催されました。

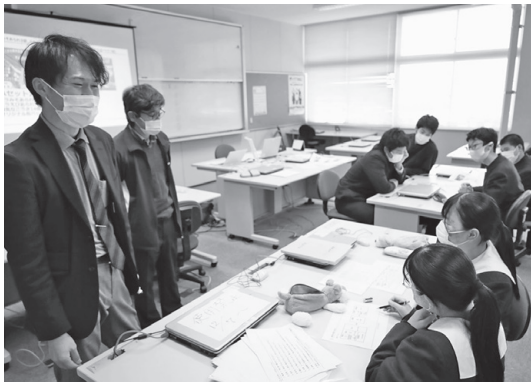
この譲渡会は、甲佐町集落支援員の越名智美さん（大町区）が、学生服専門リユースショップを運営する瀬川裕美さん（熊本市）の協力を得て初開催。甲佐中学生の保護者から同店への問い合わせが増えたことがきっかけで、卒業生の家庭に保管されたままの制服の無償提供を呼び掛け、必要な家庭へ譲渡する場をつくるのが目的。訪れた保護者は「卒業が近くなり、買換えを躊躇していたので助かりました」と笑顔を見せました。

甲佐高生が経営を考える

未来創造（株）が出前授業

11月15日（月）甲佐高校で、町が連携協定を結ぶ未来創造株式会社（熊本市）の出前授業が開催され、ビジネス情報科で学ぶ3年生6人が経営について学びました。

同授業は、昨年につき、同校（堀川丞美校長）が地域資源の掘り起しなどに取り組む同社に依頼。生徒たちは自らが手掛けたあられを使った商品セットを考案し、設定した売上目標を達成するための販売戦略を議論しました。この商品セットは、町のふるさと納税返礼品として実際に登録されています。



▲未来創造(株)の松永さん（左）と議論する甲佐高生たち



▲鳴山のメンバーから里山の木々を学ぶ児童たち

ふるさとの自然の豊かさを学ぼう

龍野小野外教室

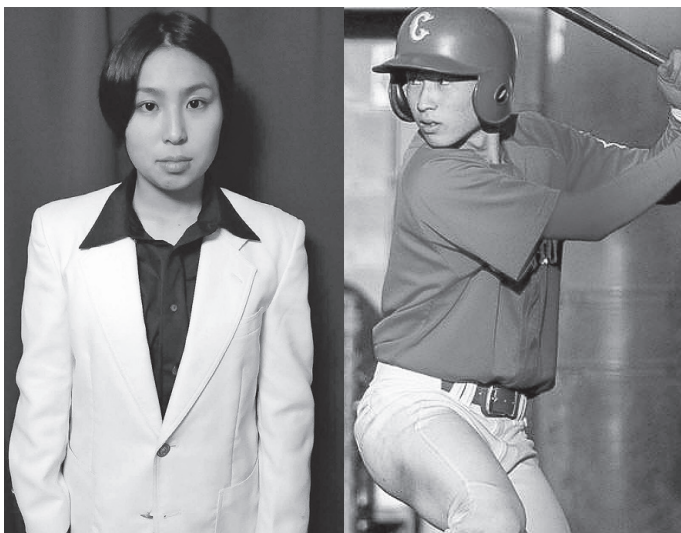
11月15日（月）上早川の鳴山（しぎやま）で龍野小児童が野外教室に参加しました。

同教室は、地域の自然と親しむことで環境への感性を育てることを目的に同小（大江律子校長）が毎年実施。里山クラブ「鳴やま」（井藤直行代表）の協力で、児童たちは落葉やどんぐりを使った作品づくりに取り組んだり、整備された里山を散策しながら動物の足跡や木々を見分けたりしました。

この教室に10年以上携わってきた井藤さんは「この活動も今年で一区切り。これからは別の形でふるさとの自然を伝えていけたら」と笑顔を見せました。

全国大会で練習の成果を発揮

マーチングバンド・堀田さんと硬式野球・北選手



▲全日本マーチングコンテストで演奏を披露した熊本工業高校の堀田さん（左）と神宮球場野球大会に参加した中部学院大学の北選手

11月21日（日）大阪府で開催された第34回全日本マーチングコンテストに堀田茜さん（熊本工業高校2年・東寒野区）が出場しました。

堀田さんがチューバを担当した同校は、九州大会で金賞を受賞し全国大会へ進出。25校が集う大阪城ホールで練習の成果を発揮し、同校の銀賞獲得に貢献しました。大会を終えて堀田さんは「銀賞という結果は残念ですが大舞台に出場できたことを誇らしく思います」と笑顔で話しました。

また、11月20日（土）～25日（木）東京都で開催された第52回明治神宮野球大会に北隆照選手（中部学院大学3年・津志田区出身）がベンチ入りを果たし、春季の全日本大学野球選手権大会と並ぶ大舞台を戦うチームを支えました。

東海・北陸・愛知3連盟の王座決定戦決勝でサヨナラ勝ちを収めて神宮への切符をつかんだ中部学院大は、2点のリードを保って終盤を迎えるも神奈川大に逆転を許して初戦敗退。北選手は「神宮球場で味わったこの悔しさを次につなげていきたいです」と決意を述べました。